

週間漁海況情報 2026年第2号

令和8年1月13日発行

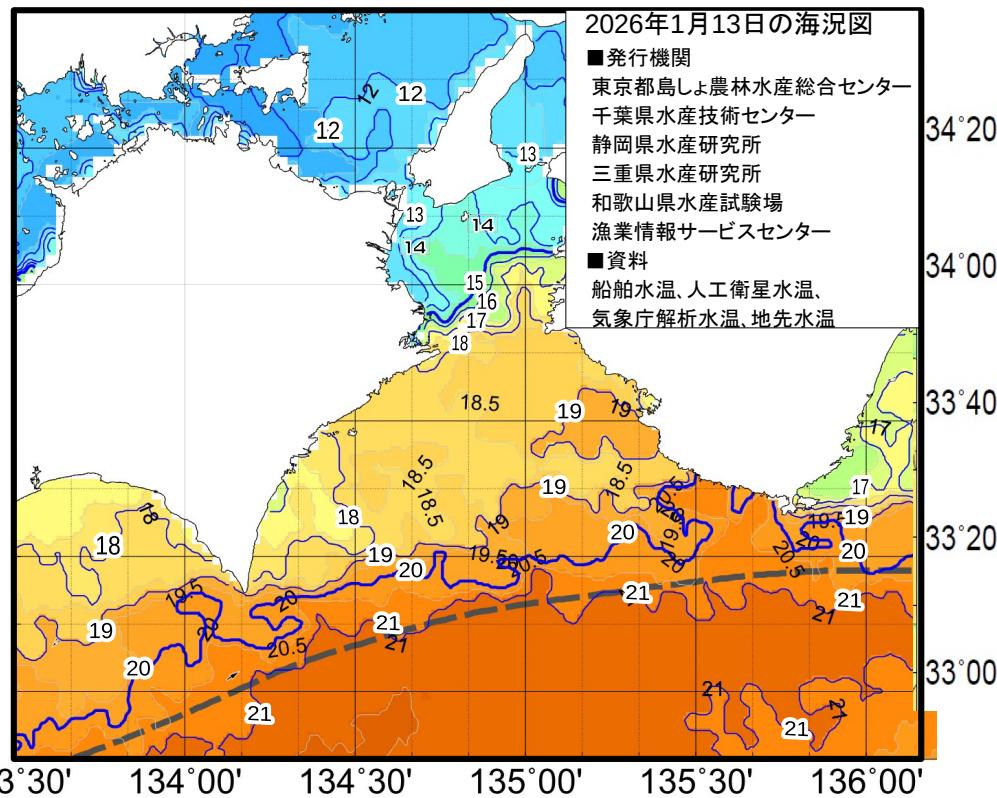
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖25マイル付近、潮岬沖20マイル付近を流れ、室戸岬で「やや離岸」、潮岬で「接岸」している。

黒潮の表面水温は20~21°C台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で11~12、紀伊水道で12~17、海部沿岸で17~18°C台となっている。

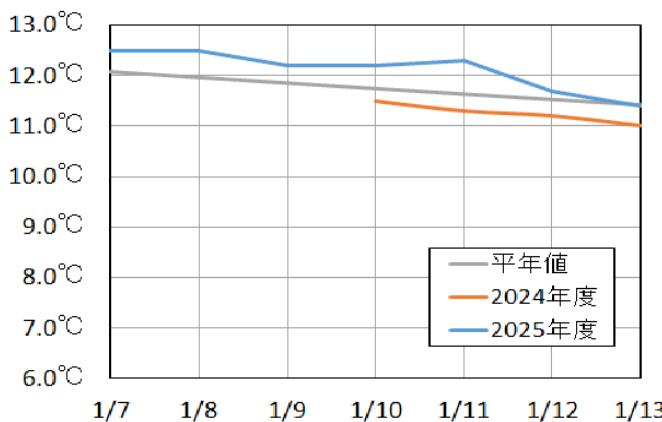


直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

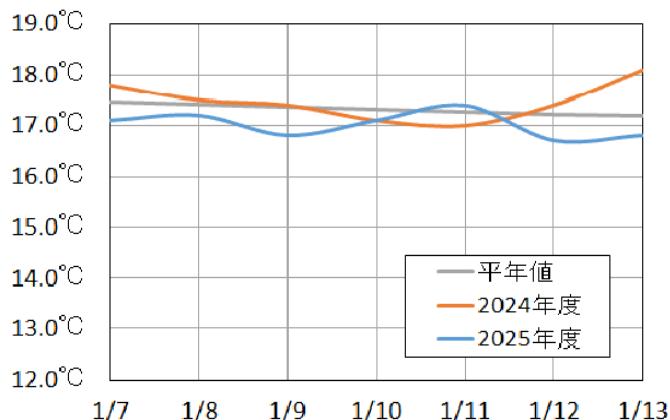
2. 地先水温(1月7日~1月13日)

鳴門地区の水温は、12.5~11.4°Cで「やや高め」から「平年並み」で推移。浅川地区は、17.4~16.7°Cで「やや低め」から「平年並み」で推移。鳴門と浅川地区的水温差は、4.6~5.4°Cだった。

鳴門地区



浅川地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5°C未満、やや高め/やや低め: 平年値±0.5°C以上1.5°C未満
高め/低め: 平年値±1.5°C以上2.5°C未満、かなり高め/かなり低め: ±2.5°C以上

※ 平 年 値 1984年~2022年(鳴門)、2018年~2022年(浅川)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

3. 週間予報(1月14日~1月20日)

黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」して推移する見込み。

地先水温は、鳴門、浅川地区とも「平年並み」で推移する見込み。

漁況 (1月5日～1月11日)

1. 紀伊水道 (標本漁協: 4)

船びき網では、シラスが大きく増えて17トン水揚げされた。

延縄では、あまだい類が大きく増えて0.8トン、

サワラが大きく増えて0.5トン水揚げされた。

底びき網では、モンゴウイカが大きく増えて1.2トン、

マダイが大きく増えて0.6トン水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて豆あじ級主体に2.3トン、

ブリがめじろ級主体に0.3トン水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協: 4)

小型定置網では、アオリイカが大きく増えて小小主体に0.8トン水揚げされた。

大型定置網では、ブリが大きく増えて2.2トン、マアジが大きく増えて1.2トン、

サワラが大きく増えて1トン、マサバが大きく増えて0.5トン、

マルアジが大きく増えて0.3トン水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.3トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	49	シラス	17,010	347		↗↗
	延縄	66	あまだい類	845	13		↗↗
		20	サワラ	488	24		↗↗
	底びき網	22	モンゴウイカ	1,227	56		↗↗
		17	マダイ	572	34		↗↗
	小型定置網	22	マアジ	2,278	104	豆あじ級主体	↗
		12	ブリ	323	27	めじろ級主体	→
海部沿岸	小型定置網	54	アオリイカ	818	15	小小主体	↗↗
	大型定置網	6	ブリ	2,238	373		↗↗
		6	マアジ	1,185	198		↗↗
		6	サワラ	1,013	169		↗↗
		6	マサバ	457	76		↗↗
		6	マルアジ	331	55		↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘